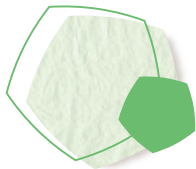




SATOSHOJI

佐藤商事株式会社 第91期 報 告 書 平成25年4月1日～平成26年3月31日

証券コード：8065



Top Message

トップメッセージ



株主の皆様には、日頃より当社グループへの格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第91期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の報告書をお届けいたします。

当社グループの連結業績の概況は、財務ハイライトに記載のとおりであります。売上高1,783億1千1百万円、経常利益33億4千8百万円、当期純利益22億4千1百万円となりました。

当社は今後の収益見通し等を考慮しつつ、継続的な企業体質の強化と利益確保を図り、安定配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当は上記の基本方針の下、当社グループを取り巻く経済環境、当連結会計年度の業績等を総合的に勘案し1株につき12円50銭とさせていただきます。これにより、中間配当10円とあわせて年間配当は1株につき22円50銭となります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、平成26年4月1日付で、村田和夫が代表取締役会長に、永瀬哲郎が代表取締役社長にそれぞれ就任いたしました。当社グループのさらなる発展のため、引き続き業務改善による業績向上と設備投資の拡充を図り、内部統制の充実による経営の健全化に努めてまいります。

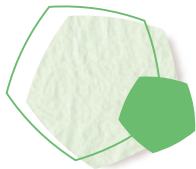
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月



代表取締役会長
村田和夫

代表取締役社長
永瀬哲郎



「一層信頼される企業」、 「選ばれる商社」を目指して。

Profile ● 昭和32年生まれ。昭和57年佐藤商事入社。平成16年電子材料部長などを経て18年取締役統括部長、21年常務、23年専務、25年副社長。平成26年4月1日社長に就任。趣味はテニス、ゴルフ、映画鑑賞。



国内外の改革に取り組む

代表取締役社長に就任するにあたり、株主の皆様にごあいさつ申し上げますとともに、初心の一端を述べさせていただきます。当社グループは、厳しい市場環境と変化の早い時代において、ゴールなきゴールを目指していかなければなりません。その中で、さらなる企業努力を行い、株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様から一層信頼される企業を目指していく所存です。

具体的な取り組みとして、私は2つの目標を掲げています。1つ目は国内事業の深掘りです。少子高齢化が進み、市場規模が縮小する中、他社にはない当社グループ“ならでは”の役割を担い、充実したサービスをお客様に提供していくことが重要となります。そのために、常にお客様のニーズを把握し、さらなる信頼関係の構築に努めてまいります。

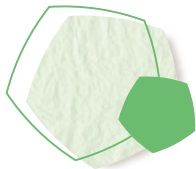
2つ目は積極的な海外市場への展開です。現在、当社グループは海外現地法人7拠点、現地合弁会社4社を有しております

が、今後もさらなる強化・拡大を行い、海外市場においても当社グループの強みを活かした一歩踏み込んだサービスを実施いたします。そして、この国内と海外との壁や各部門間の壁をなくしていくことにより、利益が創出できる風通しの良い企業作りに取り組んでまいります。

チャレンジ精神と自負心を持ち続ける

私は常日頃から「好奇心と感動する心を持ちチャレンジを続けること」「目標を定め、それを達成するために自分で課題解決するという自負心を持つこと」が重要であると社員一人ひとりに語りかけています。このマインドをグループ社員全員が共有できたとき、当社グループは新しいステージに上がることができると確信しています。

当社グループは株主の皆様をはじめ、多くの方々に支えられて今日があります。「大きい会社より、良い会社」を目指し、皆様から「選ばれる商社」として、創立以来受け継がれてきた感謝の気持ち、初心を忘れることなく事業にまい進いたします。



Review Of Operations

営業の概況

業績の概況及び今後の展望

□平成26年3月期業績のポイント

当連結会計年度における我が国経済は、復興需要や政府の緊急経済対策の効果により公共投資が増え、個人消費も雇用・所得環境の改善から底堅く推移し、年度末における消費税増税前の駆け込み需要が加わり、順調に回復してまいりました。

このような状況下におきまして、当社グループの連結業績は、主力の商用車業界が好調に推移したことなどにより、売上高は1,783億1千1百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は29億8千2百万円(前年同期比14.3%増)、経常利益は33億4千8百万円(前年同期比21.7%増)、当期純利益は22億4千1百万円(前年同期比33.1%増)となりました。

□平成27年3月期業績の展望

当社グループは、国内事業所と海外関係会社がさらなる連携を図ることにより、お取引先様へのサービスの質を高め、国内及び海外に販路のグローバル展開を推進してまいります。

次期平成27年3月期の連結業績予想につきましては、売上高1,790億円、営業利益30億5千万円、経常利益34億円、当

期純利益は21億円を見込んでおります。

□設備投資

設備投資につきましては、将来にむけた工場設備の整備と商社としてふさわしい職場環境の整備の2つの観点から進めております。

第91期は、鉄鋼事業の機械購入等で約5億3千万円の設備投資を行いました。

事業の拡大と効率化を目的とした設備投資を継続することにより、将来とも業績向上を維持し、株主の皆様への還元を図ってまいります。

経営方針

□会社経営の基本方針

当社は、「流通・サービスを通じて広く社会に貢献する」ことを基本方針としております。

□社内の管理体制

当社はあらゆる企業活動において法令を遵守し、内部管理



体制を一層強化して透明性の高い経営体制を構築してまいります。

- ・多額の取引、国内外の新会社の設立、既存会社への投資については「与信投資委員会」で多角的な視点から審査を実施しております。
- ・入社式、社内研修、社内報等あらゆる機会を通じて、法令遵守の徹底、管理の大切さを説いています。
- ・コンプライアンス体制強化に向けた取り組みの一環として「コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス経営実現のため議論を重ねています。
- ・必要な情報が確実に報告、連絡、相談される風通しの良い会社作りを目指しています。

■当社が目指している会社像

当社は84年の歴史と伝統を大切にしながら、常にチャレンジ精神をもって、変化、革新をし続ける会社です。

今後も株主様をはじめ、お取引先様、地域の皆様、OB・OGの皆様、社員ほかすべての関係者を大切に、社会に貢献できる会社を目指しています。

■中長期的な会社の経営戦略

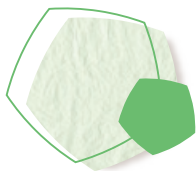
情報技術の発展やグローバル化の進展などにより、産業構

造も含め、急速なスピードで事業環境の変化が進んでおります。その中で、当社は安定的に収益を向上させるべく、「多様なユーザーの要望に応じて、より良い商品をより速く、安定価格にて提供する」ことを基本に、「国内基盤の再構築」「海外拠点の強化」「経営システムの活用」「戦略的事業拡大」を目標として掲げております。

現在、鉄鋼、非鉄金属、電子材料、ライフ営業、機械・工具の各事業が、国内及び海外で営業を展開する中、国内においては、地域ニーズへの的確な対応と全社的な情報共有によるサービスの迅速化をベースに、一層の販路拡大と新商品の拡販に努めております。加えて、国内事業を効率的に推進するために、支店の新設及び統廃合、設備の更新を積極的に展開してまいります。

また、海外においては、アジア地域の販売体制強化戦略として平成16年4月に香港に現地法人を設立したのを皮切りに、現在までにタイに1社、中国本土に2社、ベトナムに1社、韓国に1社、インドネシアに1社の現地法人を設立、加えて取引先との合併事業としてタイに3社、中国に1社の設立及び投資を行っております。

今後もグループ一丸となって、販路のグローバル化を推進していく所存です。

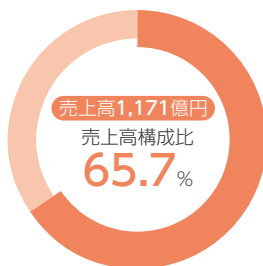


Segment Review

事業の内容

当社グループは、鉄鋼、非鉄金属、電子材料、ライフ営業、機械・工具の5部門の事業を主として行っております。各セグメントにおける主要製品及び、当期における概況についてご報告します。

▶ 鉄 鋼 事 業



事業概況

当事業においては、表面処理鋼板、冷延鋼板、酸洗鋼板、熱延鋼板、棒鋼、条鋼などの普通鋼、構造用炭素鋼、構造用合金鋼、工具鋼などの特殊鋼及び建築用の資材、機材を主に自動車、建設機械、建築、電機、造船、金型などの業界に販売しております。

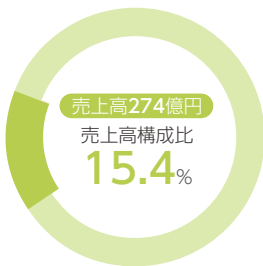
また、各事業所は、倉庫を所有し、切断などの一次加工も行っております。福島、栃木、神奈川県にはコイルセンターを有しております。

当期の概況

主要取引業界である商用車業界が好調に推移したことに加え、建産機業界も国内の復興需要や排ガス規制を背景に回復基調に向かったことなどにより、売上高は1,171億2千7百万円(前年同期比8.3%増)となりました。



▶ 非 鉄 金 属 事 業



事業概況

当事業においては、アルミニウム、銅、亜鉛、鉛、メタルシリコンなどの素材及び加工品を、主に自動車、機械器具製造、ダイキャスト製造などの業界に販売しております。

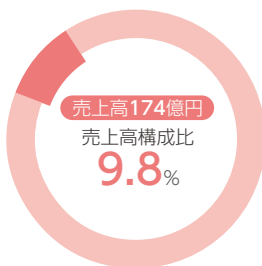
当期の概況

主要取引業界である商用車業界が好調に推移したことに加え、輸出商材の新規開拓と輸入商材の拡販により、売上高は274億4千6百万円(前年同期比18.8%増)となりました。





▶ 電子材料事業



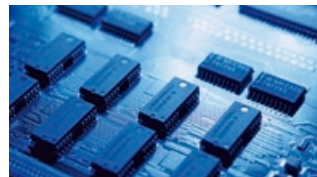
事業概況

当事業においては、電子機器、電器製品に使用されるプリント配線基板用の積層板など電子材料を電器業界に販売しております。

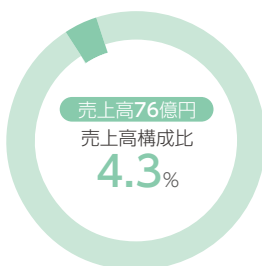
当期の概況

国内外の自動車生産が回復したことに加え、年度末の消費税増税前の駆け込み需要などを背

景に主力の車載機器向けプリント配線基板用積層板の販売が堅調に推移し、売上高は174億4千6百万円（前年同期比23.4%増）となりました。



▶ ライフ営業事業



事業概況

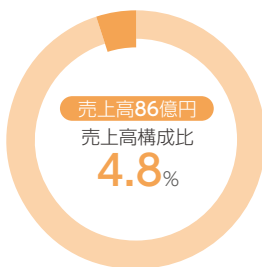
当事業においては、金属洋食器、陶磁器、また、インテリア用品、貴金属などの製品を主に百貨店、量販店、ホテルなどの業界に販売しております。また、輸入カラオケマイク等の商品をテレビショッピングや通信販売にて販売しております。

当期の概況

年度末の消費税増税前の駆け込み需要がありましたが、商品の入れ替え等により、売上高は76億7千5百万円（前年同期比1.2%増）となりました。



▶ 機械・工具事業



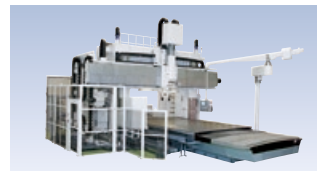
事業概況

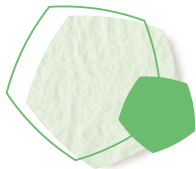
当事業においては、旋盤、フライス盤、研削盤、マシニングセンタなどの工作機械及び工場生産ライン一式、及び切削工具、作業工具などを自動車業界を主力に販売しております。

当期の概況

国内外の設備投資需要を関係各部署と連携して

受注したことなどにより、売上高は86億1千5百万円（前年同期比20.2%増）となりました。





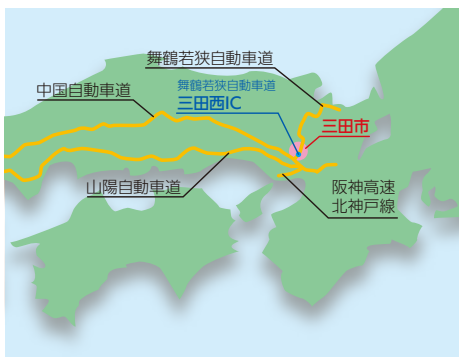
Special Feature

特集

関西鋼材センターのご紹介

兵庫県三田市に 当社最大の鋼材物流拠点、 関西鋼材センター誕生

平成25年4月、当社は大阪支店倉庫と兵庫支店倉庫を移転・統合し、兵庫県三田市の「北摂三田第2テクノパーク」内に関西鋼材センターを開設いたしました。



三田市は、兵庫県の東南部で神戸市の市街地より北へ約25km、大阪市より北西へ約35kmに位置します。当センターのある、大型企業団地「北摂三田第2テクノパーク」内には舞鶴若狭自動車道の三田西インターチェンジがあり、北に向け舞鶴若狭自動車道、東西に向け中国自動車道と山陽自動車道、南に向け阪神高速北神戸線とつながっており、物流拠点として申し分ない条件を備えています。



従来のお大阪、兵庫の両倉庫に比べ、敷地面積は約2.8倍の約20,000㎡、倉庫面積は約2倍の約8,000㎡となりました。これにより効率的な在庫配置やトラックのワンウェイでの鋼材の積み下ろしが可能となりました。



切断機は、新鋭機 3 台を含む丸鋸盤 8 台と帯鋸盤 7 台。
長尺品の自動振分設備も導入。

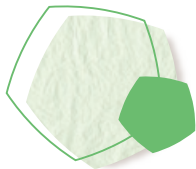
これにより、切断効率、切断後の製品仕分け効率が大幅
に改善されました。クレーンは、日本ホイスト製クレー
ンの10 t 1台、4.8 t 5台、2.8 t 4台、ダブルクレーン
2.4 t 2台、5 t 1台、ジブクレーン 2 台の合計15台を設
置しました。



屋根には、太陽光パネル2,600枚、約3,200㎡を設置(発電電力
390kW、年間発電量約39万kW)。自己消費電力を賄うことで、
二酸化炭素排出量を削減し、低炭素社会の実現に貢献していき
ます。

関西鋼材センターは関西地区のお客様の幅広いニーズに対応する高品質な
商品の取り揃えと、高効率な即納体制を実現して
事業競争力の強化に貢献してまいります。





Topics

トピックス



中国、韓国、東南アジアで現地法人を展開し、アジア地域における事業を強化。

当社は、アジア地域への販売強化戦略として平成16年4月、香港に現地法人を設立したのを皮切りに、現在までにタイに1社、中国本土に2社、ベトナムに1社、韓国に1社、インドネシアに1社、現地販売会社を設立しております。

また、UCHIDA-SATO TECH (THAILAND) CO.,LTD. (鍛造用ダイホルダー製造)をはじめとする合併の製造会社も設立し、製造・販売のネットワークを構築しています。



UCHIDA-SATO TECH (THAILAND) CO.,LTD.

上海佐商貿易有限公司が
入居するビル



心地良くて、ぬくもりのある ライフスタイルを提案しています。

“デンマーク風”という意味から名づけられたDANSK。スカンジナビアン・モダンアートをコンセプトに1954年に設立されました。その現代的で機能性に優れたテーブルウェアやキッチンウェアは、流行や年代を超えて愛され続けています。

当社では直営店として、「DANSK OUTLET(ダンスク アウトレット)」を7店舗運営しております。



DANSK OUTLET あみ店



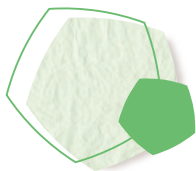
D&S DESIGN AND STYLE
レイクタウンアウトレット店

DANSK®

- 札幌北広島店 (北海道北広島市)
- あみ店 (茨城県稲敷郡)
- 滋賀竜王店 (滋賀県蒲生郡)
- 倉敷店 (岡山県倉敷市)
- 仙台港店 (宮城県仙台市)
- 横浜ベイサイド店 (神奈川県横浜市)
- りんくう店 (大阪府泉佐野市)

D&S DESIGN AND STYLE

- 千歳アウトレットモール・レラ店 (北海道千歳市)
- レイクタウンアウトレット店 (埼玉県越谷市)



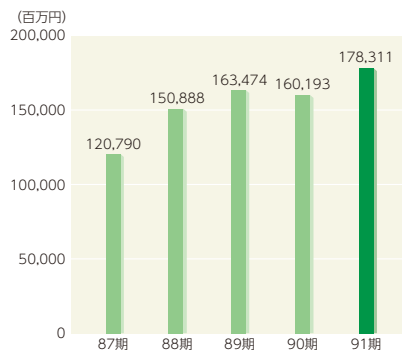
Financial Highlight

財務ハイライト(連結)

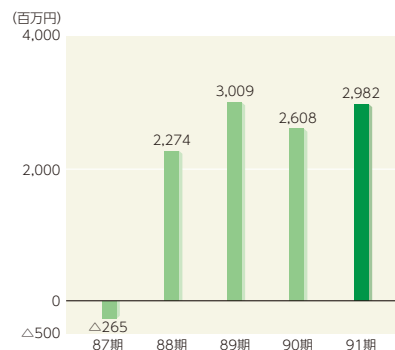


主力の商用車業界が好調に推移したことなどにより、売上高は1,783億1千1百万円(前年同期比11.3%増)となりました。

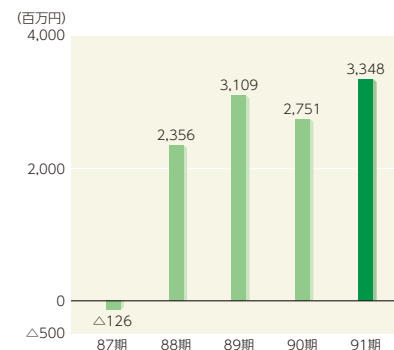
●売上高



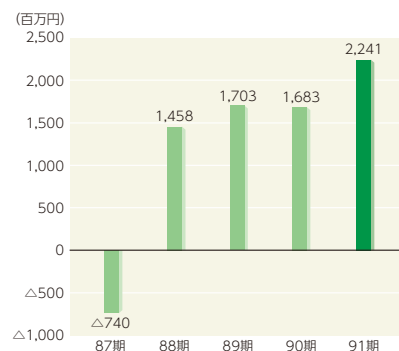
●営業利益又は営業損失



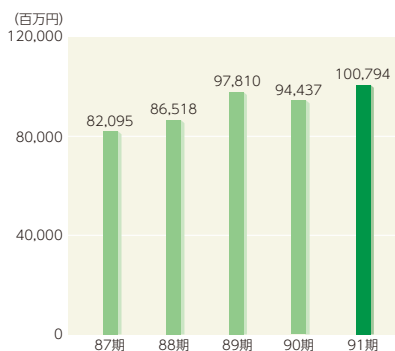
●経常利益又は経常損失



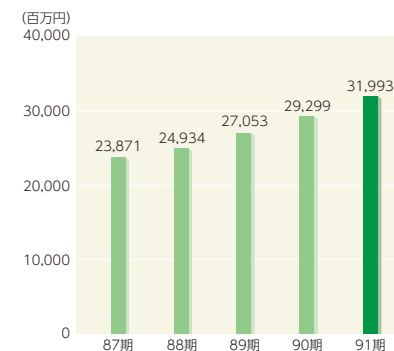
●当期純利益又は純損失

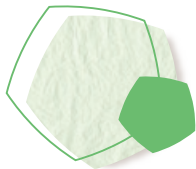


●総資産



●純資産





Consolidated Financial Statements

連結財務諸表(要旨)



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	75,357	69,776
固定資産	25,436	24,661
有形固定資産	11,442	12,743
無形固定資産	125	120
投資その他の資産	13,867	11,797
資産合計	100,794	94,437
(負債の部)		
流動負債	58,348	57,733
固定負債	10,452	7,404
負債合計	68,800	65,137
(純資産の部)		
株主資本	27,399	25,641
資本金	1,321	1,319
資本剰余金	882	880
利益剰余金	25,247	23,443
自己株式	△ 52	△ 2
その他の包括利益累計額	4,401	3,472
その他有価証券評価差額金	4,251	3,444
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	128	26
退職給付に係る調整累計額	18	-
新株予約権	63	32
少数株主持分	129	153
純資産合計	31,993	29,299
負債純資産合計	100,794	94,437

連結損益計算書(要旨)

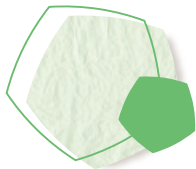
(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	前連結会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
売上高	178,311	160,193
売上原価	165,240	148,200
売上総利益	13,070	11,993
販売費及び一般管理費	10,088	9,385
営業利益	2,982	2,608
営業外収益	736	612
営業外費用	370	469
経常利益	3,348	2,751
特別利益	913	1,119
特別損失	600	1,533
税金等調整前当期純利益	3,661	2,336
法人税、住民税及び事業税	996	752
法人税等調整額	419	△ 103
少数株主利益	4	3
当期純利益	2,241	1,683

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	前連結会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	599	3,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	71	△ 1,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 848	△ 890
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 152	604
現金及び現金同等物の期首残高	2,105	1,362
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	140
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△ 1
現金及び現金同等物の期末残高	1,953	2,105



Non-Consolidated Financial Statements

個別財務諸表(要旨)



個別貸借対照表(要旨)

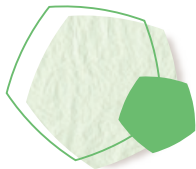
(単位:百万円)

科 目	当事業年度 (平成26年3月31日現在)	前事業年度 (平成25年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	69,447	64,763
固定資産	25,817	25,265
有形固定資産	10,292	11,369
無形固定資産	107	94
投資その他の資産	15,418	13,801
資産合計	95,265	90,029
(負債の部)		
流動負債	55,212	54,967
固定負債	9,952	7,189
負債合計	65,164	62,157
(純資産の部)		
株主資本	25,863	24,458
資本金	1,321	1,319
資本剰余金	789	787
利益剰余金	23,804	22,353
自己株式	△ 52	△ 2
評価・換算差額等	4,174	3,381
その他有価証券評価差額金	4,171	3,380
繰延ヘッジ損益	2	0
新株予約権	63	32
純資産合計	30,100	27,871
負債純資産合計	95,265	90,029

個別損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当事業年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	前事業年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
売上高	163,842	150,293
売上原価	152,511	139,306
売上総利益	11,330	10,987
販売費及び一般管理費	8,978	8,629
営業利益	2,351	2,357
営業外収益	621	767
営業外費用	343	410
経常利益	2,629	2,715
特別利益	885	1,105
特別損失	380	1,558
税引前当期純利益	3,134	2,262
法人税、住民税及び事業税	905	688
法人税等調整額	342	50
当期純利益	1,887	1,523



Corporate Data & Stock Information

会社概要・株式の状況 (平成26年3月31日現在)



会社概要

商号 佐藤商事株式会社
 本社 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
 丸の内トラストタワーN館16階
 TEL:03-5218-5311
 設立 昭和24年2月5日
 資本金 13億2,136万8,450円
 従業員数 530人
 ホームページアドレス <http://www.satoshoji.co.jp/>

株式の状況

発行可能株式総数 87,000,000株
 発行済株式の総数 21,799,050株
 株主数 4,356名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
三神興業株式会社	1,575	7.3
いすゞ自動車株式会社	1,451	6.7
日野自動車株式会社	1,270	5.9
N O K 株式会社	619	2.8
株式会社りそな銀行	554	2.6
佐藤商事取引先持株会	546	2.5
三原不動産株式会社	530	2.4
日本シイエムケイ株式会社	512	2.4
J F E スチール株式会社	500	2.3
山陽特殊製鋼株式会社	499	2.3

持株比率は自己株式(77千株)を控除して算出しております。

役員 (平成26年6月26日現在)

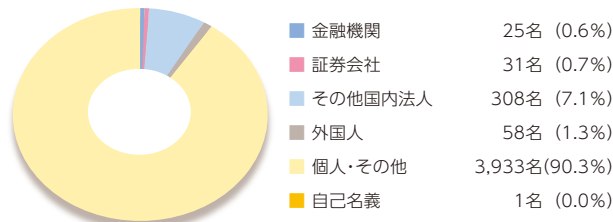
●取締役及び監査役
 代表取締役会長 村田 和夫
 代表取締役社長 永瀬 哲郎
 取締役 田浦 義明
 取締役 音羽 正利
 取締役 野澤 哲夫
 常勤監査役 澤 信彦
 常勤監査役 饗庭 典宏
 監査役 斎藤 脩

●執行役員
 専務執行役員 田浦 義明*
 専務執行役員 音羽 正利*
 常務執行役員 野澤 哲夫*
 上席執行役員 秋元 雅行
 上席執行役員 小松 和夫
 上席執行役員 藤本 敬
 上席執行役員 小野 誠一
 上席執行役員 内田 秋夫
 執行役員 白幡 剛
 執行役員 浦野 正美
 執行役員 西山 正弘
 執行役員 須賀 和徳
 執行役員 伊藤 明彦

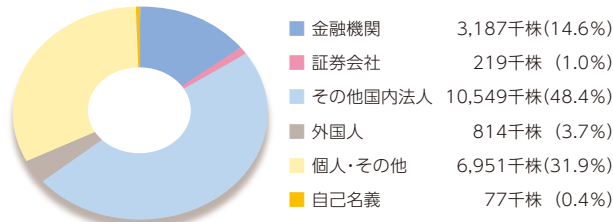
(※は、取締役を兼任する者であります)

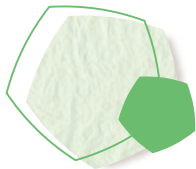
株式分布状況

●所有者別株主分布状況



●所有者別株式分布状況



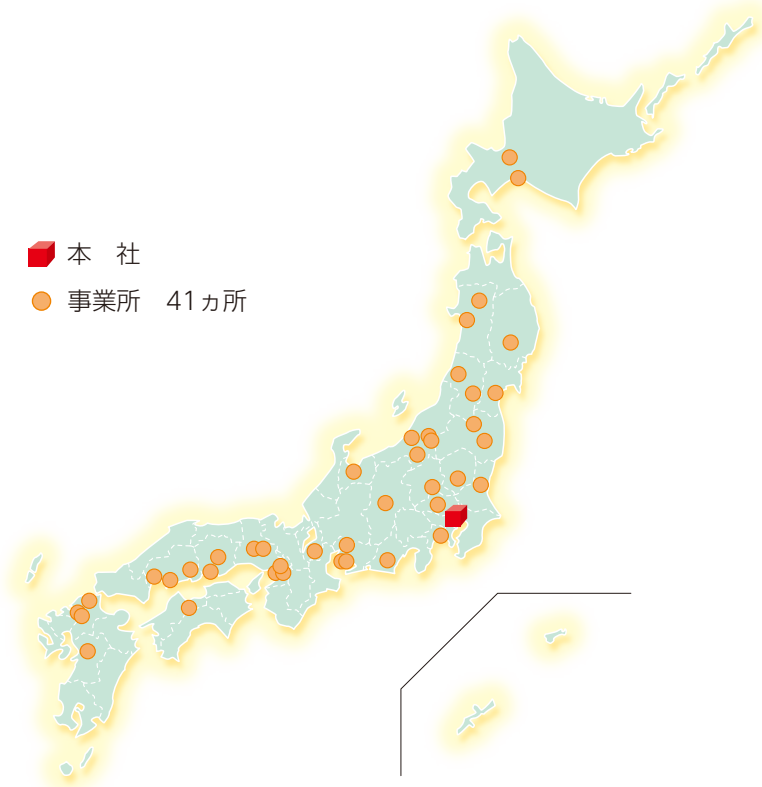


Network

ネットワーク



- 本 社
● 事業所 41カ所



連結子会社

メタルアクト株式会社	佐藤ケミグラス株式会社	日本洋食器株式会社	佐藤物流株式会社
エヌケーテック株式会社	植木フォーミング株式会社		
香港佐藤商事有限公司	SATO-SHOJI (THAILAND) CO.,LTD.	上海佐商貿易有限公司	

持分法適用会社

ネボン株式会社	山形クラッチ株式会社
---------	------------

関連会社

佐藤ゼネテック株式会社	湘南加工株式会社	関根鋼材株式会社	
深川佐藤商事貿易有限公司	PT. SATO-SHOJI INDONESIA	SATO-SHOJI (VIETNAM) CO.,LTD.	SATO-SHOJI KOREA CO.,LTD.
UCHIDA-SATO TECH (THAILAND) CO.,LTD.	YUASA SATO (THAILAND) CO.,LTD.	曾我部(蘇州)減速機製造有限公司	

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。但し、やむを得ない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (http://www.satoshoji.co.jp/ir/index3.html)
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先)	電話番号 0120-232-711 (通話料無料) ホームページアドレス http://www.tr.mufg.jp/daikou/

■株式に関する手続き

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

佐藤商事株式会社

〒100-8285 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号 丸の内トラストタワーN館16階
TEL:03-5218-5311 FAX:03-3286-1311

ステキな商品がきっと見つかる!

ハピラグ

ハピラグ 検索

Happy&Luxury

<http://www.sato-direct.jp/shop/>



当社が運営する通販サイト「ハピラグ」では、お中元・お歳暮好適品をはじめ、食品・キッチン用品・ジュエリー・家電など、様々な商品を取り扱っております。会員登録していただければポイントも付き、お好きな時間にゆっくりと商品を選んでいただけます。是非一度ご利用ください。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

